

しゅうでやま しわく
紫雲出山から望む塩飽諸島

(香川県三豊市)

約1,000本の桜が開花する紫雲出山山頂。数種ある桜が時期をずらしながら咲くため、長く楽しめ、また違う景色を見せてくれます。

桜の隙間から眺める多島海景観は春限定の風景であり、また多くの人を魅了します。



はなやぎの春

春の訪れとともに沿岸では桜やツツジが咲き始め、海は活気づき、瀬戸内は一気に華やぎをみせる。



いわじま せきぜんざん
岩城島・積善山の桜稜線
(愛媛県上島町)

3,000本以上の桜からなる鮮やかな桜稜線は、山頂展望台からだけでなく、登山道沿いからも楽しめる、しまなみ随一の桜の名所です。

しまの風景とひと

戦時中、石油の代替燃料として松根油（しょうこんゆ）を採取するするため、松を伐採していました。伐採された松の代わりに、故前田重作さんが現在の桜公園付近に4、5本の桜を植え始めたことをきっかけに、島民が桜の植樹を始め、現在でも、保育園卒園記念や還暦等の記念をはじめ、各種団体などが桜の植樹を行っています。この活動は、長年ボランティアによって行われ、現在では10種類を超える4,000本近い桜が植えられているそうです。積善山は文字どおり「善を積む山」として、島民にとってかけがえのない島の宝となっています。



とも うら
鞆の浦の伝統鯛網
(広島県福山市)

産卵のために外洋から鞆の浦に入ってきた鯛を狙う漁法で約380年続いています。5月には船に乗って伝統鯛網を観覧することができます。

コバノミツバツツジ (開花4~5月)

桜とともに春の到来を告げ、瀬戸内沿岸に色を添えます。



高島・ウミネコのコロニー

(大分県大分市)

高島は豊予海峡に浮かぶ周囲5.5kmの無人島です。島の東側の切り立った断崖を中心にウミネコが多く見られ、5,000羽以上が集まる一大繁殖地として、大分県の天然記念物に指定されています。大分県内のウミネコ繁殖地は高島のみであり、大変に貴重な場所となっています。



夏のにぎわい

陽射しが強くなった瀬戸内の海岸には多くの人と生き物があふれ、1年で最もにぎわう季節がやってくる。



からししま
唐荷島
(兵庫県たつの市)

3つの島からなる唐荷島は、大潮の時には2つの島が陸続きとなり、歩いて渡ることができる潮干狩りの穴場スポット。

うてな
台海岸
(愛媛県今治市・大三島)

本土から少し離れただけなのに、島の海水はこんなにも透明。



ちちぶがはま
父母ヶ浜
(香川県三豊市)

はまの風景とひと

干潮の夕方、風がやみ、海面が鏡のように景色を映し出すさまが「ウユニ塩湖」のようだといわれるようになった父母ヶ浜。1995年頃、父母ヶ浜を埋め立てて工場を建てるという計画が持ち上がり、地元住民みんなで議論しました。「地元にとって父母ヶ浜がどんな存在なのか?」「自分たちで守るためには何をすればいいのか?」はっきりした答えが出る前の「まず第一歩」として、地元の有志7人で始めたのが浜のボランティア清掃。現在では、「ちちぶの会」メンバーが70人以上に増え、毎月第1日曜日に浜の美しさと自然を維持するための清掃活動を行っています。

かんかけい

紅葉と奇岩映える寒霞渓

(香川県小豆島町)

日本三大渓谷美に数えられる寒霞渓は1年を通して見応えがありますが、中でも最も美しいのは秋です。長年の風雨によってできた奇岩怪石に鮮やかな紅葉と常緑樹が合わさるその景色に、訪れた人は感嘆の声をあげます。



秋のいろいろ

色づいた紅葉が独特の山容や
人文景観に溶け込み、
鮮やかで美しい秋の瀬戸内
景観をつくり出す。



鷺羽山からの夕景

(岡山県倉敷市)

地形が鷺が羽を広げた様子に似ていることから名付けられた鷺羽山。そこから見えるのは刻一刻と移ろう瀬戸内海。静まりかえる秋の夕暮れは、情緒ある風景を演出してくれます。

港町とひと

鷺羽山のふもとにある下津井は、瀬戸内海に面する港町。江戸時代～明治中期には、北前船による綿花、ニンシンの中継取引港として、また、海を隔てた讃岐金毘羅参りをする人々の宿場として大いに繁栄し、今でも当時の商家やニンシン蔵などが残され、当時の港町の雰囲気がよく残っています。現在は、廻船業・宿場町から漁業の港町へと移り変わり、タコやワタリガニ、シャコなど地元の魚介類が水揚げされています。11～12月には、下津井の風物詩・干しタコが漁港にならびます。



ちちぶがほま

父母ヶ浜

(香川県三豊市)

秋の夕暮れどきに見られる、空が朱や橙、黄色、紫などに色づくマジックアワー。風のない干潮時に訪れると、水面に空や人の姿が映り、鑑のような海が現れます。



宮島・山辺の小径

(広島県廿日市市)

厳島神社や五重の塔の朱色に引けをとらない鮮やかなモミジ。宮島の秋をより一層際立たせてくれます。



ななまがり

七曲滝の氷瀑

(兵庫県神戸市)

六甲山の有馬四十八滝を代表する七曲滝は、岩盤上を流れる落差20mの滝で冬季には凍結し氷瀑となることで知られています。そのダイナミックな自然の造形を見ようと、十分な装備と冬山経験などを積んだ登山者は寒波を待ち望みます。

ちょうしけい

銚子溪の二ホンザル

(香川県土庄町)

ふさふさの冬毛に生え変わった二ホンザル親子。この季節、寒さをしのぐためにたくさんのザルが身を寄せ合うザル団子が見られます。



澄みわたる冬

柔らかな陽射しと空気がピンと張り澄む瀬戸内の冬。山野では時に雪化粧をまとった静かな景色が広がる。



竜王山からの展望

(広島県三原市)

空気の澄む冬は多島海が最もきれいに見える季節です。遠く四国まで見渡すことができます。

灘黒岩水仙郷

(兵庫県南あわじ市)

7 haにわたって広がる500万本もの水仙と青い海や空とのコントラストは壮観で、淡路島の冬の風物詩です。



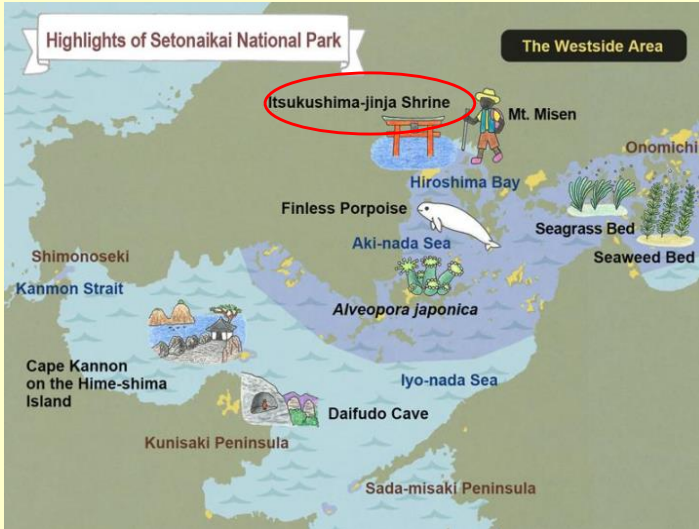
冬の海に現れる浮島現象 (山口県沖)

光の屈折が生む気象楼の一種で、暖かい海面の上に冷たい空気が流れ込む冬の季節に見られる現象です。

海風とくらし

冬になると、瀬戸内沿岸の山々にはたくさんのミカンが実り、毎日お店や道端の無人販売所にならびます。「今日は何のみかんにしようかな?」と、数もさることながら、種類も豊富で迷います。瀬戸内のみかんがおいしいのは、温暖な気候と水はけのいい土、太陽、そして海風です。海に反射した太陽光と海風によって、ミネラルを多く含んだ土が栄養価の高いミカンができるから。その反面、冬の強い西風は、人の生活にとっては大変なもの。島々では、強風に巻き上げられた潮を防ぐための高い石垣や西風が当たらない方向に集落をつくるなど、人の暮らしの工夫がみられます。

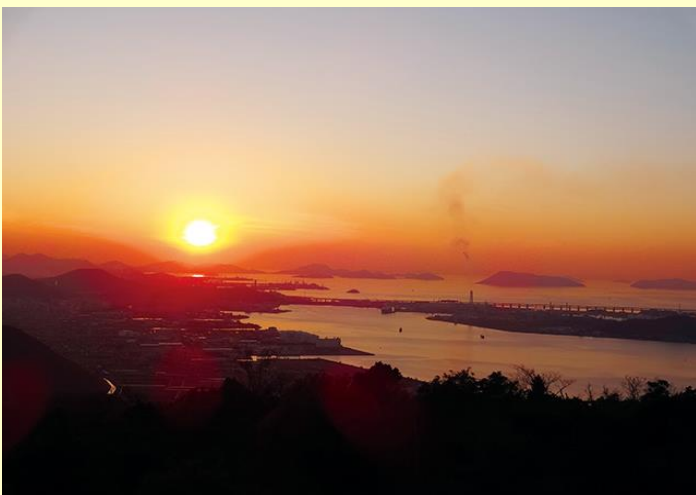
Highlights of Setonaikai National Park



Miyajima Itsukushima-jinja Shrine and Mt. Misen (Hatsukaichi City, Hiroshima Prefecture)



Mt. Washu (Kurashiki City, Okayama Prefecture)



Goshikidai Plateau (Sakaide City and Takamatsu City, Kagawa Prefecture)



Whirling Current in the Naruto Strait